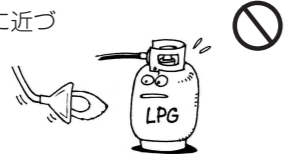
◆特に注意していただきたいこと

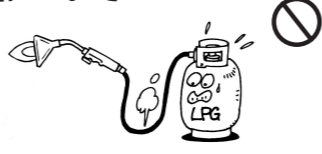
イラストの横にある ⊘ マークは禁止、❗ マークは強制を表します。

⚠警告（取扱いを過った場合、使用者が死亡、または重傷を負う可能性が想定されることを示します。）

■使用ボンベについて

●炎や熱気をLPガスボンベやホースに近づけないでください。

●燃料はプロパンガス以外のものを絶対に使用しないでください。
●LPガスボンベに強い衝撃を与えないでください。
●LPガスボンベのバルブ口にホースの先端をしっかりと取り付けてください。取り付けが不十分ですとガスもれの原因となります。
●LPガスボンベは必ず直立状態で使用してください。倒した状態で使用すると炎が異常に大きくなりやけどをする危険があります。またLPガスボンベは風通しのよい所に置いてください。
●通常プロパンガスは無色です。白色のガスが出る時は生ガスが出ているので、点火しないでください。生ガスが出た時は、一度LPガスボンベのバルブを閉じ、プロパンバーナーのバルブハンドルだけを開け、ホース内の生ガスを放出してください。
●LPガスボンベのガスを故意に吸い込まないでください。酸欠による窒息死のおそれがあります。

■ガス事故、やけどの防止について

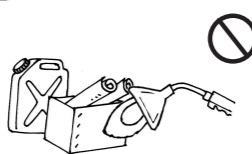
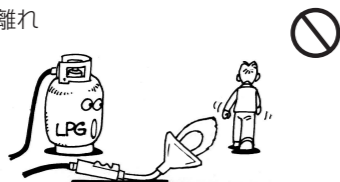
●常にガスもれのないよう十分に注意してください。ガスもれに気が付いた場合は絶対に火をつけないでください。

●作業終了後および、移動の際は必ずLPガスボンベのバルブを閉じてください。
●着火時および使用中は火口を人体に向けたり、のぞきこんだりしないでください。やけどをするおそれがあります。

●使用中および使用直後は、火口付近が熱くなっていますので手をふれたり、可燃物を近づけたりしないでください。

⚠注意（取扱いを過った場合、使用者が障害を負う危険、および物的損害のみが想定されることを示します。）

■火災予防のために

●換気の十分な場所で使用してください。また、可燃物(家屋、板べい、かやぶき屋根、はめ板など)、火気厳禁の場所からは十分離れて使用してください。

●引火するおそれのある物の近くでは使用しないでください。

●火のついたままその場を離れないでください。

●使用の際は、消火用の水または消火器を必ず用意し、火災には十分注意してください。

■落下注意

●グリップをしっかりと持って作業してください。予想しない事故が発生するおそれがあります。

●ホースを引っ張ってLPガスボンベを移動させたり、持ち上げたりするなどホースに荷重がかかるような使い方はしないでください。ホースが破れるおそれがあります。
●長時間使用しない場合はLPガスボンベからホースをはずし、直射日光の当たらない屋内に保管してください。

■子供に注意

●お子様には絶対に使わせないようにしてください。お子様の手の届かない所に保管してください。

■異常時使用禁止

●万一、異常燃焼を起した場合や緊急の場合はあわてずにバルブハンドルを閉じてください。ホースの破れた所から炎が出た場合は、炎に気をつけてLPガスボンベのバルブを閉じてください。バーナー部が完全に冷めてから、点検、修理を依頼してください。

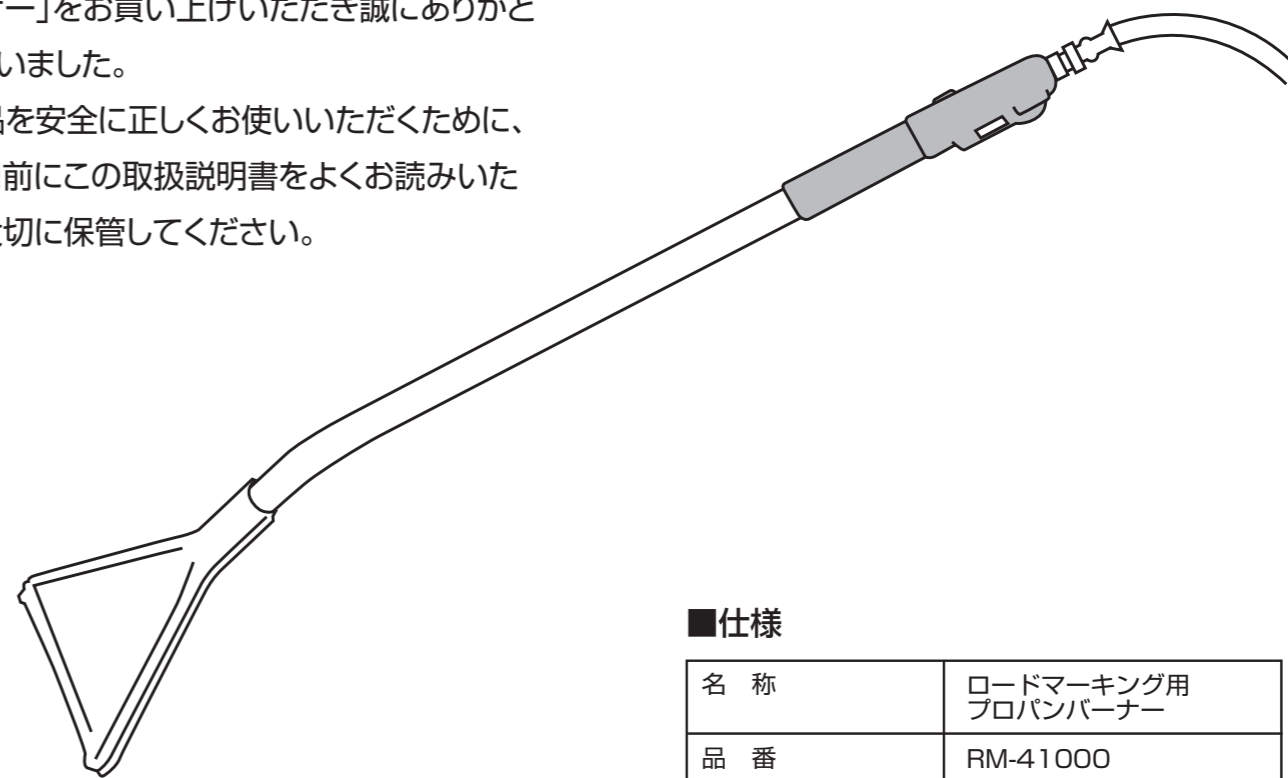
Shinfuji Burner

製造製造元
新富士バーナー株式会社
〒441-0314
愛知県豊川市御津町御幸浜1号地1-3
TEL0533-75-5000(代)　FAX0533-75-5033
http://www.shinfuji.co.jp/　MADE IN JAPAN

Shinfuji Burner

ロードマーキング用
プロパンガスバーナー RM-41000

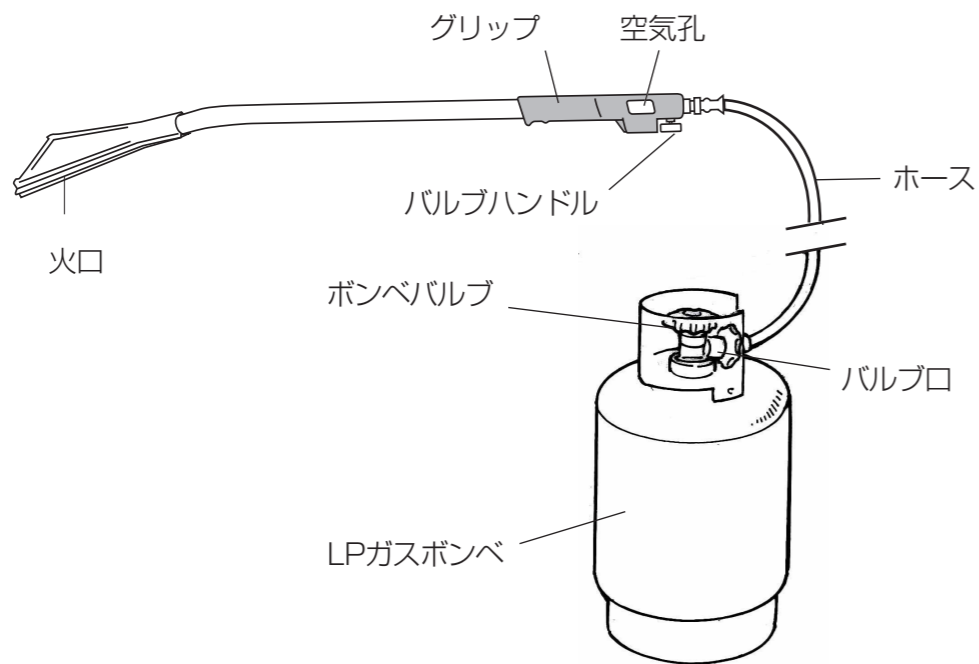
取扱説明書 〈生産物賠償責任保険付〉

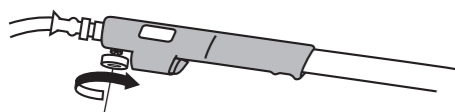
このたびは、「ロードマーキング用プロパンガスバーナー」をお買い上げいただき誠にありがとうございました。
本製品を安全に正しくお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みいただき大切に保管してください。

■仕様

名　称	ロードマーキング用 プロパンバーナー
品　番	RM-41000
全　長（本体部）	910mm
導管部長さ	450mm
ホース長さ	3m
重　量(ホース含む)	1.9kg
火口幅	165mm（内寸）
炎形状	幅広炎
発熱量※	47.3kW(40,700kcal/h)
使用燃料	プロパンガス

※5分間の燃焼データを1時間に換算したものです。

◆各部の名称/使用方法

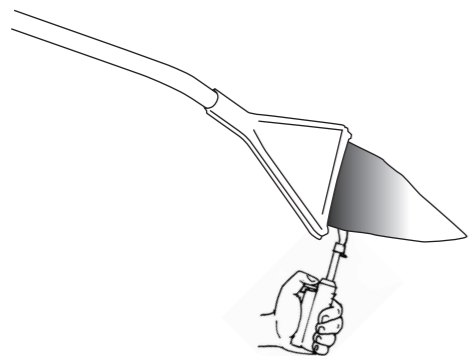
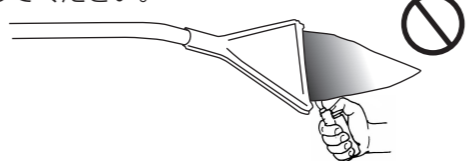
■各部の名称

■組付け

1. バルブハンドルが閉じていることを確認します。

2. LPガスボンベのバルブ口を清掃し、ゴミ、よごれがないことを確認します。ロードマーキング用プロパンガスバーナーのホース先端のネジ部分をしっかりと接続します。
※ネジは左ネジですからネジ込みの際ご注意ください。

3. LPガスボンベのバルブを開き、バルブの接続口、ホース等からガスもれのないことを確認します。

> ⚠警告　ガスもれに注意
> 常にガスもれのないよう十分に注意してください。ガスもれに気が付いた場合は絶対に火をつけないでください。

■点火

ロードマーキング用プロパンガスバーナーのバルブハンドルを少し開いて、先の長いライター等で火口の横下部から点火します。バルブハンドルを少しずつ開いて炎を調整します。
※バルブハンドルを開いたら速やかに点火してください。
※ガスの噴出量が多いと点火しない場合があります。点火しない場合は、一度バルブハンドルを閉じ、再度 ガスの噴出量を少なくして点火操作を行ってください。
※生ガス(白い霧状のガス)に点火すると、赤い炎が大きく燃え上がり、やけど、火災のおそれがあります。また生ガスを出すとノズルづまりの原因になりますので注意してください。

> ⚠注意　点火時やけどに注意
> 点火する際、火口の正面から点火すると炎が手にかかり、やけどをするおそれがありますので注意してください。

◆使用方法

> ⚠警告　「空気孔」を手でふさがない
> 燃焼中はグリップ後方にある「空気孔」を手でふさがないでください。燃焼中に「空気孔」を手でふさぐと不完全燃焼になり炎が大きく立ち上がり大変危険です。

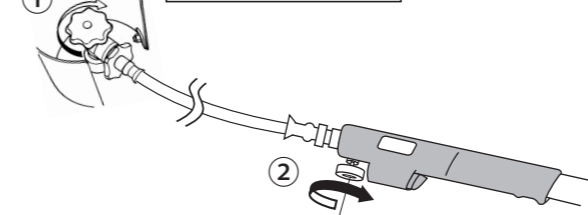
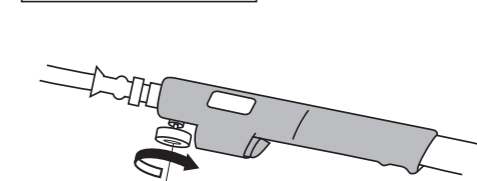
※火力を弱めた際、火口内で「キーン」と共鳴音がする場合がありますが異常ではありません。

※真夏などの気温が高い時は、LPガスの圧力が高くなり炎が吹き消えたり、炎が火口から少し離れて燃焼する場合があります。このような時は、バルブハンドルを少し閉じ炎を調整してください。

※燃焼時、火口を路面に近づけすぎると炎が立ち消えする場合があります。このような場合は火口を路面から少し離して燃焼させてください。

■消火

作業を終了する際は、先にLPガスボンベのバルブをに右に回して閉め、ホース内のガスが完全に消えてから、バルブハンドルを閉めて作業を完了します。作業中、一時的に消火する際はバルブハンドルを閉めて消火します。
※長時間使用しない場合はLPガスボンベからホースをはずし、直射日光の当たらない屋内に保管してください

作業を終了する時

一時的に消火する時

■火力調整時の注意

LPガスボンベ内のガス圧および気温の変化により炎の形状が若干変わることがあります。その場合はバルブハンドルの開閉で調整します。

◆日常の点検・手入れ・保管

⚠注意

■点検・手入れの際の注意

- ●日常の点検、手入れは必ず行ってください。
- ●点検・手入れはバーナーが冷えてから行ってださい。
- ●故障または損傷したと思われるものは絶対使用しないでください。
- ●点検・手入れの際は、絶対分解しないでください。
- ●不完全な修理は危険です。万一具合が悪くなって処理に困るような場合はお買い求めになった販売店または、当社「お客様係」フリーダイヤル0120-75-5000までご相談ください。
（土、日、祝日は休日ですのでお問い合わせは平日【9：00～12：00・13：00～17：00にお願いします。）

■点検・手入れの方法

●ホースの点検
ホースにひびや破れのないことを点検します。

●各部ネジのゆるみの点検
火口、グリップ、ホース等の接続ネジ、ナットがゆるんでいないか点検します。

●各部破損の点検
グリップの割れ、バルブハンドル等の破損がないか点検します。

■保管方法

●長時間使用しない場合はLPガスボンベからホースをはずし直射日光の当たらない屋内　に保管してください。

◆故障・異常の見分け方と処置方法

現象 / 原因	着火しにくい	炎が弱くなる	炎が突然消える	消火しない	ガスくさい	処置方法
ガス圧が高い			○			バルブハンドルでガスの噴出量を調節する
ノズルがつまっている	○	○				点検、修理を依頼する
ガスが少ない	○	○				新しいボンベに取り替える
バルブハンドルの開き過ぎ	○					バルブハンドルでガスの噴出量を少なくする
LPガスボンベが冷えている		○				LPガスボンベを風通しの良い所に30分位放置する
バルブハンドルの故障				○	○	LPガスボンベのバルブを閉じ消火し点検、修理を依頼する
グリップと各部接続ネジの					○	点検、修理を依頼する
ホースのひび、破れ					○	点検、修理を依頼する